

CASBEE-建築(新築)2016年版

中海テレビ放送新社屋

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						3.4
Q1 室内環境			0.40			3.3
1 音環境		3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		3.1	0.35	-	-	3.1
2.1 室温制御		3.3	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性	ゾーニング毎冷房・暖房の切り替えができる空調計画	4.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.4	0.25	-	-	3.4
3.1 屋光利用		3.0	0.30	-	-	
1 屋光率		3.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 屋光利用設備		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-	
1 屋光制御	ブラインド及び庇を計画	4.0	1.00	-	-	
3.3 照度	執務室・会議室等については500lxで計画	4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		3.8	0.25	-	-	3.8
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	建材についてF4スター及びVOC含有率1%未満のものを設計図書	5.0	1.00	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		1.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.9
1 機能性		4.6	0.40	-	-	4.6
1.1 機能性・使いやすさ		4.3	0.40	-	-	
1 広さ・収納性	一人当たり執務スペース13.707㎡	5.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応	OA機器用コンセント容量を50VA/㎡と計画	5.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		4.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	執務室からの眺望を配慮し、外壁に窓を多く設ける計画	4.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペースとして、多目的スペースとカフェ・休憩コーナーを計画	5.0	0.33	-	-	
3 内装計画	照明を含め、パースを作成し検討	5.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		5.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	維持管理が容易な内装材を選択	5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	維持管理機能を持つ室を十分な機能性を持たせて検討	5.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.3	0.30	-	-	3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	上水:水道用硬質塩化ビニリング銅管、排水:硬質ポリ塩化ビニル管	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		4.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	雑排水用ピットを設ける計画	4.0	0.20	-	-	
3 電気設備	停電時に非常用発電機およびUPSによるBCP対策を計画	5.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	お客様工事により下記取組をすべて対応する計画	5.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性		3.2	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	4.0	0.20	-	-	
設備予備スペースを設ける計画						
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						3.4
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.0
1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	5.0
エネルギー消費性能計算プログラム(非住宅版)モデル建物法						
2	自然エネルギー利用	4.0	0.10	-	-	4.0
二方向以上に窓を設ける計画						
3	設備システムの高効率化	4.1	0.50	-	-	4.1
[BEI][BEIm] = 0.69						
4	効率的運用	3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング	3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
1.1	節水	3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60	-	-	2.8
2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	5.0	0.20	-	-	
全ての室において内壁は外壁と分離し、容易に分別可能な計画等						
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避	3.0	0.70	-	-	
1	消火剤	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		3.9	0.33	-	-	3.9
一時消費エネルギーを削減する計画						
2 地域環境への配慮		2.4	0.33	-	-	2.4
2.1	大気汚染防止	3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制	2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.25	-	-	
駐輪場の新設及び適切な量の駐車スペース(社用車用含む)を確保						
3 周辺環境への配慮		3.3	0.33	-	-	3.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音	3.0	1.00	-	-	
2	振動	-	-	-	-	
3	悪臭	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		4.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	4.0	0.30	-	-	
照明メーカーに協力してもらい照度シミュレーション実行 庇による窓への直射光を遮る計画						